

刘长允 著

劉長允 著

邢永凤 译

邢永鳳 訳

大中华赋

为中华民族的伟大复兴而歌

大中華賦

中華民族の偉大な復興を詠う

山东人民出版社

国家一级出版社 全国百佳图书出版单位

刘长允 著
劉長允 著

邢永凤 译
邢永鳳 訳

大中华赋

为中华民族的伟大复兴而歌

大中華賦

中華民族の偉大な復興を詠う

山东人民出版社

獨家一輯出版 全國各大書店均有發售

图书在版编目 (CIP) 数据

大中华赋：汉日对照 / 刘长允著；邢永凤译. — 济南：
山东人民出版社，2014.7

ISBN 978-7-209-08628-8

I. ①大… II. ①刘… ②邢… III. ①文化史—中国—
通俗读物—汉、日 IV. ①K203-49

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 148963 号

责任编辑：王海涛

大中华赋：汉日对照

刘长允 著 邢永凤 译

山东出版传媒股份有限公司

山东人民出版社出版发行

社 址：济南市经九路胜利大街 39 号 邮 编：250001

网 址：<http://www.sd-book.com.cn>

发行部：(0531) 82098027 82098028

北京图文天地制版印刷有限公司印装

规 格 16 开 (155mm × 230mm)

印 张 11.5

字 数 100 千字

版 次 2014 年 7 月第 1 版

印 次 2014 年 7 月第 1 次

ISBN 978-7-209-08628-8

定 价 48.00 元

如有质量问题，请与印刷厂调换。010-84488980



刘长允

1955年12月生，1982年毕业于山东大学历史系，现在山东省委办公厅工作。发表的主要论文有《从辞书角度看易经》，出版的主要著作有《步入神秘的殿堂》、《天不变道亦不变——老子纵横谈》。

劉長允

1955年12生まれ。1982年山東大學歴史学院を卒業し、現在山東省省庁に勤務。既発表の主要論文に『辞書の角度から易經を見る』があり、出版された主要著作に『神秘の殿堂に入る』、『天は不変、道もまた不変——老子を縦横に語る』がある。



邢永凤

邢永凤（女），1970年生，山东大学外国语学院日语系教授、博导，日本山口大学博士，主要从事日本思想史、中日文化交流史等方面的研究。已经出版专著1部：《前近代日本人的对外认识》（中国社会科学出版社，2007），译著1部（合译），在国内外学术刊物发表论文20余篇，主持多项省部级课题。

邢永鳳

邢永鳳（女）、1970年生まれ、山東大学外国語学部日本語学科教授、博士指導教官、日本山口大学学術博士、専門は日本思想史、中日文化交流史など。著作『前近代における日本人の対外認識』（中国社会科学出版社、2007年）、国内外の学術誌に刊行された論文は20何本もある。科研プログラムも多数ある。



盤古氏 盤古氏

盤古^{〔1〕} 開天，日出東方。崑崙巍巍，黃河泱泱。大化流行，萬類咸章^{〔2〕}。

盤古^{〔1〕} は天地を開き、太陽は東方から昇る。崑崙は高く聳え、黄河は洋々としている。宇宙は止まらずに変化し、万物は皆活気に溢れている。

〔1〕 盤古：神話伝説中開天辟地之人。最早見于三国时期徐整《三五历记》，据载，“天地混沌如鸡子，盘古生其中。万八千岁，天地开辟，阳清为天，阴浊为地。盘古在其中，一日九变。神于天，圣于地。天日高一丈，地日厚一丈，盘古日长一丈。如此万八千岁，天数极高，地数极深，盘古极长。故天去地九万里，后乃有三皇。”

〔2〕 万类咸章：众多物类，尽皆彰显。“章”同“彰”。

〔1〕 盤古：神話伝説の中で、天地を開いた人。一番古く記録は三国時代徐整の『三五歴記』に見える。「天地混沌卵の如し、盤古はその間に生き、一万八千歳になり。天地開き、陰清は天となし、陰濁は地となし。盤古その中にいて、一日九変する。天より神聖、地より神聖である。天一丈高く、地一丈厚く、盤古は一日一丈成長する。このように一万八千歳になって、天は極高く、地は極深く、盤古は極高い。故に天から地まで九万里あり、後に三皇ある」。



妇好墓出土的玉凤
婦好墓に出土された玉鳳



内蒙古三星他拉遗址出土的玉龙
内モンゴルのタラに出土された玉龍

巨龙腾空，彩凤飞翔。乾道成男，坤道成女^{〔1〕}。

巨大な竜が空に舞い上がり、美しい彩りの鳳凰が空を飛んでいる。乾道は男性を形成し、坤道は女性を形成した^{〔1〕}。

〔1〕 乾道成男，坤道成女：出自《易经·系辞上》。乾为天，坤为地，天地运行的规律（乾道，坤道）构成了人的不同禀赋。乾道构成男性，坤道构成女性，天、地、人相生相成，天人合一。

〔1〕 「乾道は男性を形成し、坤道は女性を形成した」：『周易・系辞』による。乾は天、坤は地であり、人々の違う気性は天地運行の規則（乾道・坤道）に決められる。乾道は男性を形成し、坤道は女性を形成する、天、地、人は相成し、調和的である。



西安半坡村遺址出土的彩陶
西安半坡村遺跡の出土品彩陶

山顶洞中燃起不灭之火^{〔1〕}，半坡村^{〔2〕}里传出歌声嘹亮。

竜骨山山頂の洞穴^{〔1〕}では不滅の火が燃え盛り、半坡村^{〔2〕}では歌声が高らかに響いている。

〔1〕山顶洞中燃起不灭之火：20 世纪 30 年代，在北京西南周口店龙骨山山顶洞穴内发现了中国晚期智人化石——“山顶洞人”。山顶洞人距今约 3 万年，当时已学会人工取火。

〔2〕半坡村：位于陕西省西安市东郊。1953 年春，在此发现了中国新石器时代重要的母系氏族村落遗址，其年代约为公元前 4800—前 4200 年。

〔1〕竜骨山山頂の洞穴：20 世紀 30 年代、北京西南の周口店の竜骨山で智人の化石が発見された。山頂洞人は三万年前の原始人類で、人工火の使用ができた。

〔2〕半坡村：陝西省西安市の東に位置する村で、1953 年、ここで新石器時代の母系氏族の村落の遺跡が発掘された。紀元前 4800—紀元前 4200 年ごろのものだとされる。



大汶口文化遺址出土的八卦紋象牙梳
大汶口文化遺跡に出土された八卦紋象牙櫛

爰有人類，即有中華。何為中華？中正而光大之謂也！

人類が誕生するとともに、中華も誕生した。中華とは何か？
中正で光大だという意味である。



人首蛇身の伏羲女娲像（唐 絹画）

人首蛇身の伏羲像（唐の絹画）



大禹治水图（漢）

大禹治水図（漢）

大中華賦
大中華賦

天本不傾，女媧^{〔1〕} 补天天増彩；地实有洪，大禹^{〔2〕} 治水水向东。

天は元来傾いてはおらず、女媧^{〔1〕} の補修によってますます輝いた。大地では洪水があり、大禹^{〔2〕} の治水によって大河は東に流れたのである。

〔1〕 女媧：中国神話传说中的女神。相传女媧曾用黄土造人，并炼五色石补天。

〔2〕 大禹：中国父系氏族社会时期著名的部落联盟领袖。据记载，禹领导人民疏通江河，兴修沟渠，发展农业。在长达十三年的治水中，曾三过家门而不入。后以治水有功，被舜推为继承人。

〔1〕 女媧：神話の女神の名前である。彼女は黄土で人を作り、五色石で天を修復したとされる。

〔2〕 大禹：記録によると、彼は人々を率いて、川を流され、溝を作り、農業を発展させる。十三年間の治水中、三回家を通ったが、家に入らなかった。治水の功績で、舜に後継人として勧められた。



尧帝像 尧帝の像



舜帝像 舜帝の像

三皇五帝^{〔1〕} 事虽邈，尧天舜日^{〔2〕} 犹可征。

三皇五帝^{〔1〕} の事績は茫然だとはいえ、堯舜^{〔2〕} が開いた太平社会は今でも証拠を求めうる。

〔1〕三皇五帝：一般认为，“三皇”指伏羲、女娲、神农；“五帝”指黄帝、颛顼、帝喾、唐尧、虞舜。

〔2〕尧天舜日：唐尧、虞舜为传说中中国父系氏族社会时期两位著名的部落联盟首领，传说他们在位时期，天下太平，百姓安居乐业，后以“尧天舜日”比喻理想中的太平盛世。

〔1〕三皇五帝：三皇は伏羲、女娲、神农または天皇、地皇、人皇とされ、五帝は黄帝、颛顼、帝喾、唐尧、虞舜とされる。

〔2〕堯舜：彼らの時代は、天下太平で、百姓は幸せに暮らしている。「堯天舜日」は理想的な太平の世の譬えになった。



炎帝像 炎帝の像



黄帝像 黄帝の像

諸祖争雄^{〔1〕} 无是非，万代子孙宗炎黄^{〔2〕}。

吾が祖先たちが雌雄を争ったこと^{〔1〕} は是でも非でもなく、
歴代の子孫は黄帝と炎帝を祖先とする。

〔1〕 諸祖争雄：指黄帝、炎帝和蚩尤之间的争斗。

〔2〕 炎黄：指炎帝和黄帝。宗炎黄：指以炎帝、黄帝为祖宗。

〔1〕 諸祖争雄：は皇帝、炎帝、蚩尤との戦いを指す。



神農耕作图 神農氏耕作図



后稷像 後稷の像

吾先民勤奋，艺植百谷，揉木为耒^{〔1〕}，结绳为网，以佃^{〔2〕}以渔，上栋下宇待风雨；

吾が祖先は勤勉で、百種類ほどの穀物を植え、木を曲げて耒を作り、縄を結んで網を作り、狩猟や漁労を行い、棟木を上方にしつらえ宇を下に垂らして、風雨をしのいだ。

〔1〕耒(lěi)：古代用以翻土的农具。

〔2〕佃(tián)：同“畋”。打猎。



搏击猛兽岩画 猛兽と戦いの岩画

吾先民英武，搏击猛兽，服牛乘马^{〔1〕}，披荆斩棘，跋山涉水，烈风雷雨而弗迷^{〔2〕}。

吾が祖先は勇ましく、猛兽と格闘し、牛馬を使役し^{〔1〕}、いばらの道を切り開き、山水を跋涉して、烈風や雷雨にも迷わなかった^{〔2〕}。

〔1〕服牛乘马：役使牛马驾车。出自《周易·系辞下》：“服牛乘马，引重致远，以利天下。”

〔2〕烈风雷雨而弗迷：指遇到暴风雨，镇定自若而不惊惧迷乱。出自《尚书·尧典》：“纳于大麓，烈风雷雨弗迷。”

〔1〕服牛乘馬：牛馬使役し車を駕させる。『周易・系辞下』による。「牛を服させ馬を駕させ、重しを引いて遠に致す」。

〔2〕烈風雷雨に迷わず：暴風に遭っても、落ち着いて迷わない。『尚書・堯典』による。



青铜器铭文拓片 青铜器铭文的拓片

尤赞我先民之聪慧：仰观天文，俯察地理^{〔1〕}，近取诸身，远取诸物，创立文字，惊天地而泣鬼神^{〔2〕}！想我中华五千年灿烂之文明，端赖神奇文字传承之伟功！

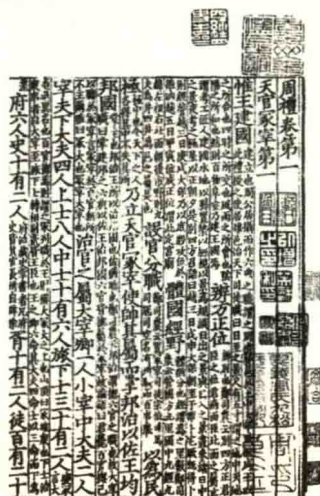
吾が祖先の智慧を最も賞賛したいのは、仰いで天文を観察し、俯いては地理を観察し^{〔1〕}、自分自身、また万物から天地の規則を把握して、文字を創造し、天地を驚かせ、鬼神を泣かせたことである^{〔2〕}。我が中華五千年の輝かしい文明は、ひとえに神妙不可思議な文字が伝えた偉業である。

〔1〕 仰观天文，俯察地理：仰首以观看天文，俯首以察看地理。指多方或仔细观察。源于《周易·系辞上》：“仰以观于天文，俯以察于地理，是故知幽明之故。”

〔2〕 惊天地而泣鬼神：使天地为之震惊，使鬼神为之哭泣。刘安《淮南子·本经训》载：“昔者仓颉作书，而天雨粟，鬼夜哭。”

〔1〕 「仰觀天文、俯察地理」：多方面、仔細に觀察することである。『周易・系辭上』による。

〔2〕 「驚天地而泣鬼神」：天地を驚かせ、鬼神を泣かせる。劉安『淮南子・本經訓』には：「昔倉頡字を作り、天から雨が降り、夜鬼が泣く」とある。



东汉郑玄注《周礼》内页。儒家大同思想最早在《礼记》中提出。

後漢鄭玄注釈『周礼』の内容、儒家の大同思想は早くも『礼記』に提出された

夏商周秦汉，唐宋元明清。朝代有更替，长江后浪推前浪；期求无所变，富民强国大同^{〔1〕}梦！

夏、商、周、秦、汉、そして唐、宋、元、明、清。王朝には交代があり、新しい世代が古い世代に取って代わる。どの時代でも変わらないのは、富民強国の大同^{〔1〕}の夢である。

〔1〕大同：人人平等自由，百姓安居乐业的社会景象。这是中国古代儒家追求的理想社会，对后世产生了重要影响。

〔1〕大同：人々は平等自由、幸せに生活する社会、「大同」は古代儒家が求めている理想社会、この思想は後世に深い影響を与えた。



商王成湯像 殷湯王の像



周武王像 周武王の像

商汤革命^[1]，已知民听即天听^[2]；周虽旧邦，更感维新事方成^[3]。

殷湯王の革命^[1]では、すでに民意が天意^[2]であるのを知り、周は旧国でありながら、維新改革こそ国家を発展させようと意識していた^[3]。

〔1〕商汤革命：指公元前 17 世纪中晚期商王汤推翻夏朝末代统治者夏桀的社会变革。

〔2〕民听即天听：民众的听闻就是上天的听闻，民意即天意。源于《尚书·泰誓中》：“天视自我民视，天听自我民听。”

〔3〕周虽旧邦，更感维新事方成：周虽然是旧的邦国，但已经意识到只有不断改革创新，才能使国家得以发展。源于《诗经·大雅·文王》：“文王在上，於（wū）昭于天。周虽旧邦，其命维新。”

〔1〕商湯革命は、紀元前 17 世紀中晩期に商王の湯は夏朝を取り変わろうとする変革である。

〔2〕民聽即天聽：民衆の聴聞は天の聴聞であり、民意は天意である。『尚書・泰誓中』より。原文は天視るは我が民視ること、天の聴きは我が民の聴きである。

〔3〕周雖旧邦、更感維新事方成：周は旧邦であるが、維新改革こそ、国家の発展ができると意識した。『詩經・大雅・文王』による。「文王の靈は天上にあり、天に輝かし、周は旧邦であり、天命を受け維新する」。